

Weekly Report 2023-2024



創 立 1969年4月14日
承 認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発 行 I T・広報委員会

世界に希望を生み出そう

会長：磯崎裕騎 / 幹事：吉岡哲哉 / 副会長：村上義憲 / 会長エレクト：江島繁夫 / 副幹事：岩本達也 / S.A.A: 堀井実

今週のプログラム		第2592回	3月29日
客話「香川ファイブアローズが目指す香川県のスポーツ振興とさらなる経済活性」(株)香川ファイブアローズ 代表取締役車長 生岡直人様			
担当者	プログラム委員会		例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム		第2591回	3月22日
客話「SNSを使った投資詐欺の被害防止」香川県警察本部生活安全部生活安全企画課 遠山敬久様			
担当者	プログラム委員会		例会場 JRホテルクレメント高松



磯崎会長挨拶

みなさん こんにちは
暑さ寒さも彼岸までとは申しますが今年の春のお彼岸はまるで冬の嵐のようでした。マリンライナーも止まるほどの風が吹きましたし、みぞれのような雨も降りました。私もお寺でお彼岸の法要に参加してきましたがダウンのコートを羽織らないととても我慢できなかったくらいです。まだまだみなさんお風邪など召しませんようにしてください。
今日は県警から遠山様、並びに防犯協会から堀江様、またOBで野村証券参与の武田様にお越し頂きました。後ほどお話を頂戴致したいと思っております。よろしく申し上げます。
さて先日の観光案内板の除幕式にご参加頂いた会員の方にはありがとうございました。患者さんから何人かテレビを見ましたよと言われてやはりテレビの力はすごいなと思った次第です。これを機にロータリーの知名度がアップすると良いと思います。
テレビと言えば昨日の夕方に見ていた与謝蕪村の「菜の花や月は東に日は西に」と言う句があります。この俳句が詠まれた時の月はどんな状態なのか？と言うのがありました。
この句は菜の花の時期、西の空に夕日が沈むころ、黄色い菜の花を見ながら月と太陽が同時に見えるところを歌った

句です。では、春の日に、東に月、西に夕が見えるというシチュエーションが整った日の月は、いったいどのような状態なのかと言うことです。

三日月、上弦の月、満月、不明の4択でしたが西に太陽が沈もうとしている反対側の東に月があればそれは正面から照らされているわけで満月になると言うのが正解です。

今日は月の出は15時半で満月ではありません。明日は小豆島ロータリー主催でIMがあります。残念ながらお天気が崩れてお月様は見えないようですが、参加の方はどうぞよろしく申し上げます。

吉岡幹事報告

- ・ 地区大会出席お願い致します。
- ・ 丸亀ロータリクラブより記念誌が届いています。
- ・ 会員名簿が出来上がっています。

出席報告		出席委員長：低田陽介	
会員数 /	42名	出席規準数 /	40名
出席者数 /	20名	欠席者数 /	20名
出席率 /	50.00%	ビジター /	1名
最終出席率 /	3月1日	82.05% →	87.18%

3月29日 今日は何の日	今日生まれの有名人
マリモの日/八百屋お七忌(円乗寺)/肉の日 1886年 コカ・コーラ発売開始 1957年 日本の南極越冬隊が南極大陸初上陸	1984年 里田まい 1982年 滝沢秀明 1971年 西島秀俊
誕生花	アザレア、花言葉は“愛を知った喜び”
誕生石	エメラルド(emerald)、宝石言葉は“幸福”

四つのテスト
言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



ニコニコBOX	
長男が薬剤師の国家試験にパスしました。	吉岡
第2回ラウンジ空コンペ無事に終わりました。	田中
ありがとうございました。	
その他	
遅刻	1件
合計 4 件	
本日の合計	18,000円
2023-2024年度累計	631,000円

ビジター

高松RC 松村 英幹 様

メイクアップ

- 3月14日 丸亀RC 岡田
- 3月17日 2720 Japan O.K. ロータリークラブ 大島
- 3月17日 地区研修・協議会 江島 岩本 入谷 加藤 木内 野口 堀井
- 3月19日 高松東RC 白川 村上 堀井 石川
- 3月19日 高松中央RC 江島 川口 藤田
- 3月19日 丸亀東RC 岡田
- 3月21日 高松RC 低田 藤田

地区研修・協議会 3月17日



IM(インターシティミーティング) 3月24日



次週のプログラム 第2593回 4月5日

(昼例会) 55周年リハーサル

担当者	プログラム委員会	例会場	JRホテルクレメント高松
-----	----------	-----	--------------

ポール・ハリスの言葉 ロータリー情報委員会 加藤和理

23. 友の訪れは最良の強壯剤

A neighborly visit is the best tonic that's known --- better than beef, iron and wine. Try it, I beseech you.

隣人の訪れは何ものにも優る最良の強壯剤だーそれは肉にも、鉄剤にも、ワインにも優る。試してみられよ、敢えてお願いする。

ロータリーの発祥が、大都会の孤独に耐えられず、同気相求めたポール・ハリスと二人の若者の集まりにあることは誰でも知っている。だからポールは繰り返し繰り返し、交友、友情、友誼ということを語っている。彼が奉仕ということを説くよりも、どれだけ多く、また情熱をこめて、友情ということを強調していることか。親しい交際がなければこの世は闇だ。貧乏にも病気にも、どんな世の変動にも耐えることは出来るが、友達が無かったら生きる甲斐もない、とまで彼は言っている。

そして彼は、表玄関から改まって訪問するのではなく何時でも裏木戸からぶらりと入ってゆける仲、ということ強調している。我々父祖の時代には、お互いの家にー “dropped in”ーひょっこり立ち寄ったものだ。わざわざ訪問するー “call”ーするより “drop in”した方がどれだけいいか知れない。だから人々は何時でもこういう不意の intrusion の為 に食事の一皿を余分に用意しておいたものだ、と彼は言う。何とも羨まじき時代ではないか。予め appointment をとらなければ到底会えない、などというのと雲泥の差がある別天地である。然し今や文明はこういうことを郷愁の彼方に連れ去ってしまった。

ところでロータリーが推奨する炉辺会合というのは、やはりこういう家庭訪問への郷愁から発生したのではなからうか。胸襟を開いた交友の醍醐味は家庭の一皿に盛られているのだ。然るに何ぞや今の日本のロータリーでは、屋々料理屋での割勘の会合が炉辺会合の名に於て開かれているという。何とも奇妙な光景である。成程家庭へ来られては家人が迷惑するという。欧米と日本の風土習慣が違うともいう。それも一理だろうが、親しい友人に來られて迷惑だというのも解せない話である。それは追及しないとしても、私はここでロータリーとは関係なしに一つの教訓を思い出す。私の父は「客の来ない家は繁昌しない」とよく言った。私の知っている限りでも、優れた人物は仕事とは直接何の関係も無しに、大変「客好き」なものである。つまり「人恋しい」ということなのだろう。考えてみれば、「人恋しい」という潤った感情なしにどうしていい人間関係など期待出来るのか。

2023-2024年度 3月定例理事会

日時	2024年3月22日
場所	JRクレメントホテル高松例会場
出席者	磯崎、遠藤、江島、吉岡、大西、田中、山本、川口 岩本 (オブイザーバー)
議題	① 大島雄一会員、人事異動(東京)に伴う 退会申請の承認 → 承認 ② 4月5日の昼例会に変更する → 承認 ③ 4月12日例会変更して 4月13日に55周年記念式典を実施 → 承認 ④ 5月3日を休会とする → 承認 ⑤ 5月10日を夜例会に変更する → 承認 ⑥ 5月31日を休会とする → 承認